

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	人権思想の根源 (Root of Human Rights)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	じぶんごととして、ジェンダー・セクシュアリティ平等の視点から「教育」と「社会」の「あたりまえ」を問いなおそう		
担当者名 (Instructor)	堀川 修平(HORIKAWA SHUHEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

この授業では、人権について、とりわけ「性と人権」についての基本的な知識を身につけてもらうことを前提として、皆さんが自分自身を縛るジェンダー・セクシュアリティ問題に気づき、課題意識をもって現代社会の諸問題に向き合えるようになることを目標とします。

In this class, the aim is that students become aware of gender and sexuality issues that bind us all on the premise of acquiring basic knowledge about human rights, especially “gender and human rights,” and face issues in contemporary society with problem-awareness.

授業の内容(Course Contents)

皆さんは、性に関わる「差別」など自分には関係のないもので、差別やジェンダー・セクシュアリティについて考える必要などないと考えていませんか？現代社会におけるジェンダー・セクシュアリティ問題は「不可視化」されている点にあり、これまで経験してきたであろう学校教育、社会教育、家庭教育などのさまざまなく「教育」の場や日常生活のなかに存在しているのです。そして、それらの問題を「学び」ながら私たちは育ってきています。この授業では、自分自身を縛るジェンダー・セクシュアリティ問題にまず気づき、その上で課題意識をもって「社会」の諸問題に向き合えるようになることを目標とします。

Do you think that you have nothing to do with gender, such as “discrimination,” and you don’t need to think about discrimination or gender and sexuality? Gender and sexuality issues in modern society are at the point of being “invisible,” and exist in various “educational” places such as school education, social education, and family education, etc. that we have all experienced so far and in daily life. And we grow up while “learning” those problems. In this class, the aim is that students first become aware of gender and sexuality issues that bind us, and then face issues in “society” with problem-awareness.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 性のジョーシキを打ち破ろう！(1)ジェンダー／セクシュアリティって何だ？
3. 性のジョーシキを打ち破ろう！(2)「LGBT」=性の多様性？？？
4. 性のジョーシキを打ち破ろう！(3)「特権」ってなんだ？
5. グループディスカッション(1)性に関するあたりまえを問い直そう
6. 学びの空間を捉えよう！(1)「教育」って何だ？
7. 学びの空間を捉えよう！(2)「社会運動」と教育との関係性
8. グループディスカッション(2)学びは何を変えようのか考えてみよう
9. 良好な関係性を築くためには？(1)暴力とは何か？
10. 良好な関係性を築くためには？(2)目の前の人を忘れないために
11. 包括的性教育の可能性(1)性教育とはなにか？それを妨害する力とは？
12. 包括的性教育の可能性(2)教育の可能性をあらためて考えてみよう！
13. グループディスカッション(3)わたしたちが、今、始められることとは？
14. まとめ:「度し難いまでの有知」にご用心

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

受講にあたって準備は必要ありません。ただし、授業中に提示する学習課題および授業内容について、ノートづくりが必要です。また、授業で配布するレジュメや資料は「膨大」になりますので、各自ファイリングをするようにしましょう。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業内で書いてもらうコメントや感想内容(40%) / 中間課題(20%) / 最終レポート(Final Report)(40%)
個人ワーク・グループディスカッションを積極的に取り入れます。中間・最終課題は、知識の暗記ではなく、自分の思考を整理し、論述すること求めます。

テキスト(Textbooks)

1. 2021、『季刊セクシュアリティ No.103 包括的性教育をすすめるためのキーワード 63』、エイデル研究所
テキストは電子書籍版(kindle 版)もあります。テキストの入手方法ならびに、授業における利用方法に関しては、初回オリエンテーションでご説明しますのでそれを待って購入に移ってください。また、このテキストのほかにも、授業内で適宜資料を配布しますので、紛失しないように気をつけましょう。

参考文献(Readings)

1. ベル・フックス、2003、『フェミニズムはみんなのもの』、新水社
 2. 高橋哲哉、2012、『犠牲のシステム 福島・沖縄』、集英社
 3. 伊田広行、2015、『デートDV・ストーカー対策のネクストステージ: 被害者支援/加害者対応のコツとポイント』、解放出版社
 4. 好井裕明、2007、『差別原論——〈わたし〉のなかの権力とつきあう』、平凡社
 5. パウロ・フレイレ、2011、『被抑圧者の教育学—新訳』、亜紀書房
 6. 渡辺大輔、2018、『性の多様性ってなんだろう? (中学生の質問箱)』、平凡社
- その他、学習の手助けになる文献などは各授業で推薦いたします。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

この授業では「ジェンダー・セクシュアリティ平等の視点」を“社会におけるすべての人の〈性〉に関する抑圧の解放を目指すために、性の多様性を認め、性の差別や偏見から自由になること”と定義して、現代社会における「差別」問題について考えていきます。

その際、皆さんに「じぶんごと」としてこれらの問題を捉えてもらいたいと思いますので、積極的にグループディスカッションや個人ワークを方法として用います。グループディスカッションや個人ワークに取り組まないことは、他の受講生の学習権の侵害にあたりますので、課題に取り組めない方の受講は希望しません。他の受講生の学習権の侵害がないように、各々積極的に参加していただきたいと思います。

注意事項(Notice)